

様式第2号（政務調査活動実施報告書）

平成24年7月17日

井原市議会議長
宮地 俊則 様

井原市議会議員 藤原 浩司

下記のとおり政務調査活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実 施 期 間	平成24年7月10日（火曜）～平成24年7月11日（水曜）
2. 研修会等の開催地または視察先	・神奈川県横浜市（有）大平技研 ・神奈川県川崎市 かわさき宙と緑の科学館
3. 研修会等の名称または視察内容	・プラネタリウムの製造で世界一の技術を誇る大平技研のスーパープラネタリウム MEGASTAR の特徴について!! ・スーパープラネタリウム MEGASTAR を使ったプラネタリウムの視聴、子供達の星への学習状況、一般視聴の状況等、施設全体の状況について!!
4. 研修会等の講師名または視察先の担当者名	・神奈川県横浜市大平技研、社長・大平貴之、チーフ・久保宏信、エンジニア・近藤彰洋 ・神奈川県川崎市かわさき宙と緑の科学館、学芸員・国司 真
5. 調 査 活 動 内 容	別紙のとおり

1. 報告書は、調査活動終了後2週間以内に提出すること。
2. 調査活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により調査活動内容を取りまとめ、調査活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

7月10日 神奈川県横浜市 (有)大平技研

- ・ プラネタリウムの製造で世界一の技術を誇る大平技研のスーパープラネタリウム MEGASTAR の特徴について!!

光学式とデジタル式の両方の技術を同時に使って再現するという、全く新しい恒星投影方式の MEGASTAR、今までのプラネタリウムは地球から宇宙の星を見るだけの物でしたが、このスーパープラネタリウム MEGASTAR は宇宙から地球を見ると言う今まで無かった恒星投影方式です。開発者の大平社長は、子供の頃見たプラネタリウムに憧れ小学校 5 年生で自分で小さなプラネタリウムの恒星投影機を作ったそうです。その思い入れが現在のスーパープラネタリウム MEGASTAR の開発に成功したきっかけです。MEGASTAR は小学生の頃から一貫してプラネタリウム製作に取り組んできた、プラネタリウムクリエイター・大平社長の個人開発によって生み出されました。MEGASTAR 以前のプラネタリウムのほとんどが、6〜7 等級までの恒星、およそ 6 千〜3 万個を再現するにとどまっていたのに対し、大平社長の大胆な新発想により、1998 年に 150 万個もの星を映し出す MEGASTAR-I が産声を上げたのです。これまでの実に 100 倍以上です。デジタルプラネタリウムとの連動調整を自動化するオートジオメトリ機能を搭載し、光学式の MEGASTAR が映し出す美しい星空に、デジタル式から投影される星座線などの多彩なビジュアルを容易に重ねることができ、宇宙旅行を楽しむような多彩な演出も可能な画期的な物です。また、恒星投影機は非常に小型軽量で、シンプルな構成となっています。観客の視界を妨げず、デジタルプラネタリウムと併用したときに、映像に大きな影を作りません。設置スペースもわずかで、機種によっては持ち運びも可能で、持ち運びできる、可搬性にこだわり普通自動車で運搬でき、どこでもでも移動プラネタリウム上映が可能です、プラネタリウム施設以外でのイベントや、エアドームでのモバイルプラネタリウムなどでも活用できる。

まとめ

とにかく少数精鋭の会社で、手作りの部分も多々ある中、セガと提携を結び小型の恒星投影機は玩具として販売経路を拡大し大型の恒星投影機は世界はもとより日本中の有名なプラネタリウム施設更新時に採用されています。大平技研の少数精鋭、適材適所の人材、プラネタリウムへの発想力、開発力、事業展開は非常に勉強に成りました。これこそ隙間産業、誰もが気づかなかった所に大胆な発想をし、デジタル社会を視野にいれての展開は素晴らしいの一言!! 我、井原市もこのような企業家は必ず居るはず、井原市の企業支援を利用し起業して戴き、地元の産業振興、雇用の確立に繋がればと思います。

7月11日 神奈川県川崎市 かわさき宙と緑の科学館

- ・ スーパープラネタリウム **MEGASTAR** を使ったプラネタリウムの視聴、子供達の星への学習状況、一般視聴の状況等、施設全体の状況について!!

スクリーン直径18Mの水平型ドームで座席数は202席です。午前中は小学生・中学生の学習ですが、午後からは一般に解放されています。子供から大人まで学習が出来て楽しめるプラネタリウム。ここのプラネタリウムはさきで紹介した大平技研の **MEGASTAR-I** を採用されています。午前中の子供達の星への学習時に視聴をさせて頂きました。ドームの下側になると、それぞれの学校の校庭が **360度**に映し出され、スーパープラネタリウムの開幕、太陽の経路を一時間ごとに足跡を残し映し出され、月の足跡も映し出され、北極星から様々な星の説明そして、さそり座のオブジェクトを映し出し、天の川に纏わる星座のオブジェクトも映し出され、そしてクライマックスでは宇宙旅行へ出発、銀河系の星座を一回りし最後に地球の日本の川崎市の真上に止まり子供達の住む町の自宅を探す時間が有り終了で校庭へ着陸という体験、子供達は超、感動していました。このようなプラネタリウムで星の観測をし、子供達に豊かな広い心を植え付け、優しい感動力のある学習を是非学習して戴きたい。川崎市は **122校**もの小学校があり年間を通じて星座の学習はされております。午前中は子供達でいっぱい状態でした。

一般客も新緑の公園の日陰で涼しんだり、小さな子供連れの親子がマイナスイオンを発生させる噴水で水遊びをしたり、立てようの観測、近世の観測等と多くの観覧者が訪れていました。公園には白川郷の居宅を丸ごと移設したそば屋さんや小民家など素晴らしい施設が点在し、公園の整備も行き届いており、素晴らしい施設だと痛感しました。

まとめ

川崎市は **122校**もの小学校があり年間を通じて小学4年から星座の学習を教育委員会と密に連携をとり実施していた。地層の学習や化石の学習も行われ、これも教育委員会との密に連携をとられていた。我市も様々な施設がある中、もっとアイデアを出し今あるものを最大限に利用し、施設と教育委員会とが密に連携をし子供達の豊かな学習に寄与して戴きたい。

また、井原市は美星の天文台があり、天候が不順な時にプラネタリウムを見て頂くなどの計画が是非必要と思われます。まして、井原市は星の郷美星、サッポロビールの開拓の星と星に係ることが多く、プラネタリウムも星、是非スーパープラネタリウムの建設を岡山県や国の補助金を利用し(まちづくり補助金)建設をして戴きたいと思います。星座の勉強は子供に限らず大人も、豊かな心を作るのに必要不可欠、優しい想像力豊かな心を作るためにも是非必要だと思われます。

様式第2号（政務調査活動実施報告書）

24年 7月 /3日

井原市議会議長

宮地 俊則 様

井原市議会議員

川 上 泉

下記のとおり政務調査活動を実施しましたので、報告します。

記

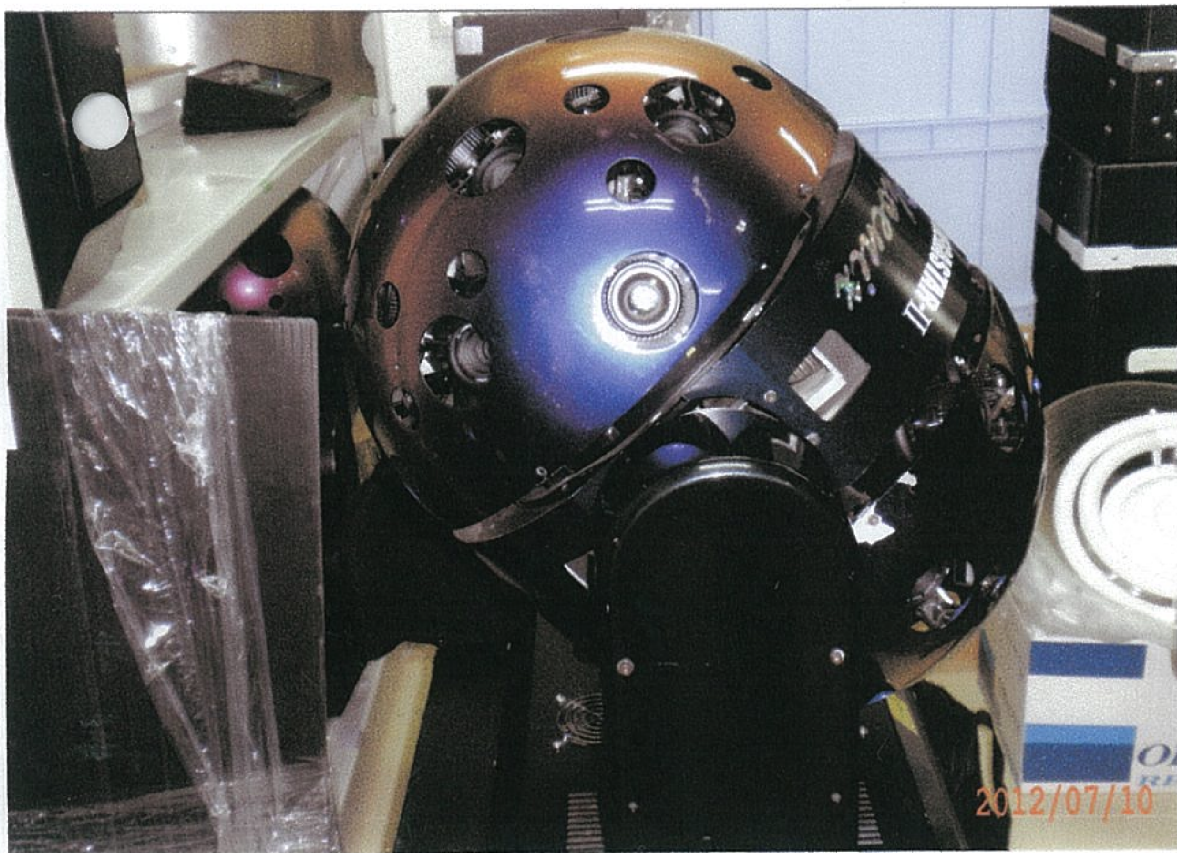
1. 実 施 期 間	平成24年7月10日～11日
2. 研修会等の開催地または視察先	神奈川県横浜市都筑区池辺町4489-1 (有)大平技研 川崎市多摩区杉形7-1-2 かわさき宙と緑の科学館
3. 研修会等の名称または視察内容	プラネトリウム ^① の製造と魅力 ^② について プラネトリウムに接し、夢のある教育の推進と、心豊かな街づくりについて。
4. 研修会等の講師名または視察先の担当者名	大平技研 社長 大平 貴之、久保 宏信、近藤 彰洋 かわさき宙と緑の科学館 学芸員 国司 真
5. 調査活動内容	井原市には美星町に天文台があり、星に親しむ教育の推進や星をテーマにした街づくりが行なわれている。しかしながら天文台の活用は太陽観察以外は夜間に限定されたり、何よりその時の天気に大きく左右される。天文台だけで教育、街づくりや観光にとって充実したものであると断言するのは難しい。そこで天候に左右されことなく時間にも気を配る必要のないプラネトリウムが天文台の周辺に設置できないか、その可能性を考えるため調査した。実現すれば井原市周辺にはプラネトリウムはなく、市内外より多くの人を集めることにつながると思う。 (別紙資料あり)

1. 報告書は、調査活動終了後2週間以内に提出すること。

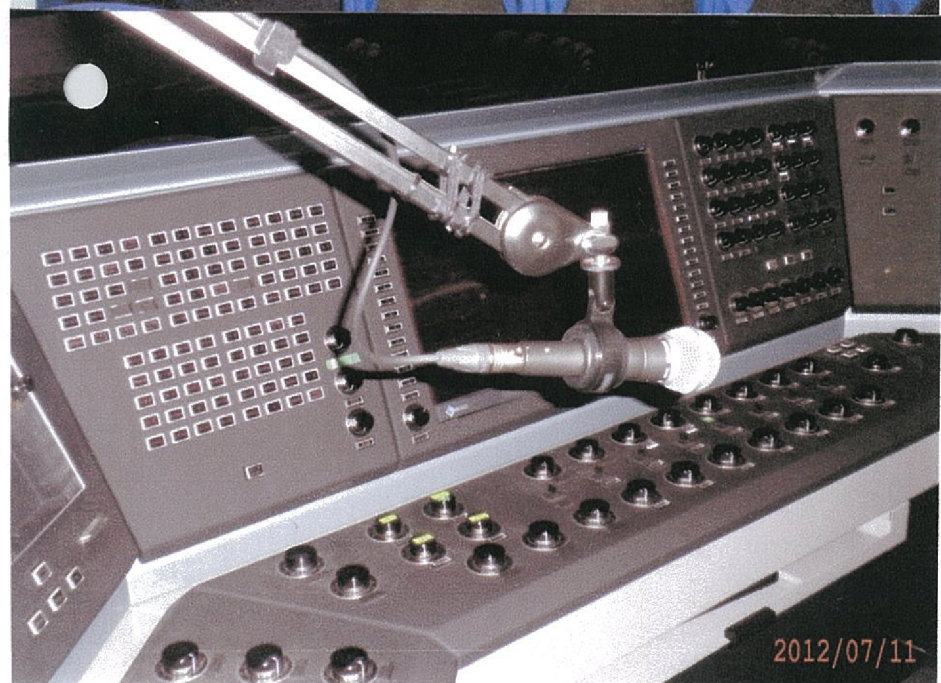
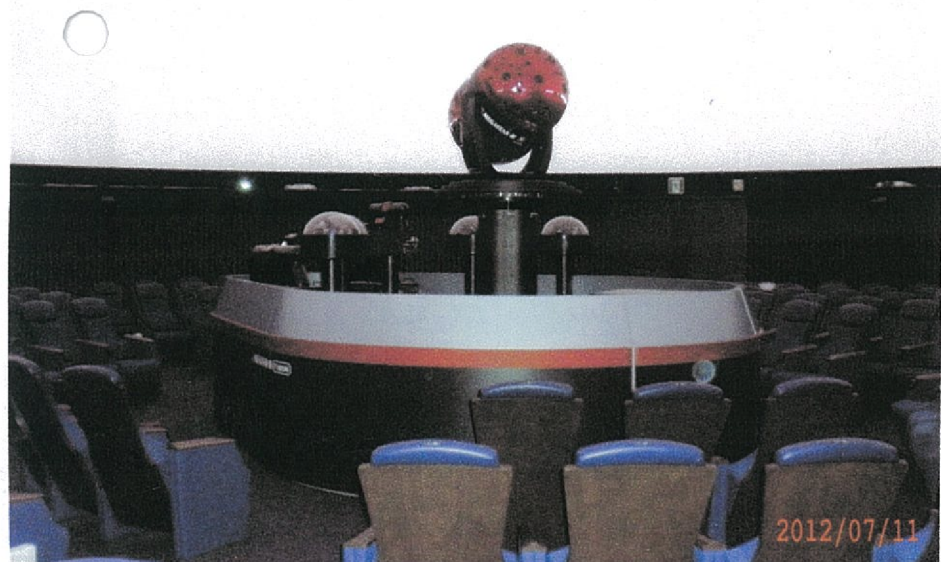
2. 調査活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により調査活動内容を取りまとめ、調査活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



大平社長と私



製造中のプラネタリウム



様式第2号（政務調査活動実施報告書）

平成24年 7月 25日

井原市議会議長

宮 地 俊 則 様

井原市議会議員

高 田 正 弘

下記のとおり政務調査活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実 施 期 間	平成24年7月10日～11日
2. 研修会等の開催地または視察先	プラネタリウムについて大平技研視察研修 かわさき宙（そら）と緑の科学館 川崎市
3. 研修会等の名称または視察内容	プラネタリウムについて大平技研視察研修 ・会社概要・世界に誇る技術・発想・アイデア かわさき宙（そら）と緑の科学館 川崎市 プラネタリウム導入について ・建物と設備の状況について ・運営・運用の状況について ・市民や生徒・児童への影響について
4. 研修会等の講師名または視察先の担当者名	大平技研 大平貴之社長・近藤彰洋・久保宏信 かわさき宙（そら）と緑の科学館 学芸員 国司 真
5. 調 査 活 動 内 容	井原市は美星天文台を有する星の街です。プラネタリウムは小学生から大人まで、学習と楽しめる施設です。サッポロビールも星のマークが売り物。星のマークで一体的に情報発信することが望まれます。そうした中、大平技研の技術は世界一の技術・発想・アイデアです。2200万個の星を再現出来ます。 かわさき宙（そら）と緑の科学館では小学生が大勢学習に訪れていました。平日は入場予定で満席です。午後は一般大人にも開放しています。チケットの販売も好調でした。将来是非井原市にも導入される事を望むものです。

1. 報告書は、調査活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 調査活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により調査活動内容を取りまとめ、調査活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。